令和4年7月29日

広島電鉄株式会社の事業適応計画のポイント

・ 広島電鉄株式会社は、少子高齢化の進展や新型コロナウイルスの感染拡大を契機とした甚大な社会変化の中で、収益構造を再構築し、早期の黒字転換を実現するとともに、いわゆるウィズコロナでの当社グループの持続的な成長に向けた取り組みを行う。
・ 具体的には、新たな運輸サービスの提供により鉄軌道需要を取り込み、ICTを複合的に活用し、お客様へ新たな付加価値を提供すると同時に、運行コストの圧縮をはかり、強靭な経営体制の構築を図る。

＜事業適応計画の概要＞

１．事業適応計画の実施期間

2022年８月～2027年３月

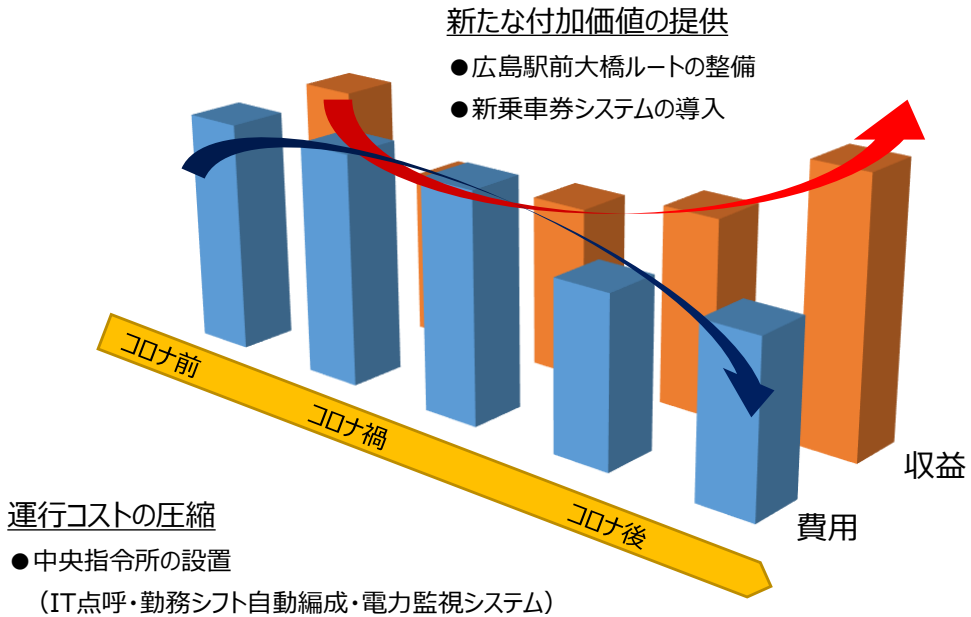
２．生産性向上目標・新需要開拓目標

計画終了年度である2027年３月期 のEBITDAマージンが、基準年度である2022年３月期を５%ポイント以上上回ることを目標とする。

３．前向きな取り組みの内容

・ 計画終了年度の新たな取り組みによる売上高の合計額が、全体の売上高の１%以上となることを目標とする。
・ 計画終了年度の売上原価（鉄軌道事業）/ 売上高（鉄軌道事業）の値を、基準年度となる2022年３月期の当該値より５%以上低減させることを目標とする。

４．支援措置

税制措置（繰越欠損金の控除上限の特例）

＜取組の内容のイメージ＞